

民間救急 鎌倉紀行



鎌倉紀行合同会社 代表 田中 淑美

民間救急の顧客ニーズと市場の動向

民間救急鎌倉紀行は、人口高齢化を背景に、寝たきり高齢者、身体障害者、病氣、事故、けが等で歩行困難な患者を対象に、医療機関への入退院、通院、転院、あるいは社会福祉施設、民間施設への送迎、冠婚葬祭、ドライブ等を行っております。車両はストレッチャーやフルリクライニング車椅子の固定装置を備え、鎌倉市の消防本部の認定を受け指定の資器材を積み、ご依頼があれば救命士や看護師も同乗し遠方へも安心・安全・快適をモットーに搬送事業を行っております。

患者搬送事業は、緊急性のない方を対象としているものの、搬送途中の容態悪化は、常に注意し消防機関との連絡や感染防止対策等の利用者安全確保の為に、年1度の消防本部の検査から日々の衛生記録なども行っております。

消防機関認定の搬送業務に従事する者の資格、患者搬送適認証を全員が講習を受け保持しています。

この民間救急制度導入には、東京消防庁の財政難と救急活動への支障が主な理由とされています。

東京消防庁の事業コスト試算報告書によると救急業務の支出は、人件費など285億

5、200万円。年間救急出動約63万件。1回のコストは約45、000円でありました。救命出動は、ここ数年で約3万件ずつ増えていることから、2015年には116万件に達する可能性がある指摘されています。すべての需要に無償で対応する現行方式は限界に達しているとし、抜本的見直しを求める方向にあります。

さらに緊急性の低い救急出動やタクシー替わりに利用する状況が進めば民間委託導入や救急業務自体をアメリカのように有料化する事もあり得ます。

自社の提供するサービスの強みについて

- 顧客の不安を安心に変えるサービス
- 患者様、御家族様に寄り添うサービス
- 安全の為に研修制度導入システム
- 24時間365日対応
- サイズ違いの車椅子の御用意
- 御家族様が降りる際にドアの開閉は、事故防止の為にこちらが外から扉を開く

経鼻経管栄養の方、胃ろうの方、バルーン装着の方、酸素対応の方、点滴使用のま

まの搬送等も移乗も気をつけ体重のある方は、スライダーを使用し病院の看護師様に感動されるほど、御本人も身体にあまり負担をかけずに移乗させて頂きます。

弊社の昨年の出動回数も1800回を超える勢いで増加している状況です。

弊社独自のサービスとして、お客様からのお声から上がりました介護保険外の夜間サービスや退院後のお食事作り等のハウスサービスの対応も好評でございます。

今後の目標

地域密着を意識し鎌倉市を中心に、病院・居宅からの販路拡大を目指します。

実績の基盤を作り、民間救急事業のシステム・ノウハウを構築して同業他社、新規参入希望者に研修制度を取り入れた支援及びコンサル事業の展開

寝たきりの顧客様に外出できる外出プランの事業化

精神疾患対応の実績を生かし、御家族様へのアドバイス・相談業務等

鎌倉紀行合同会社

本部 鎌倉市笛田5-7-13
営業所 鎌倉市笛田4-25-12
アクセスレオン鎌倉2階
電話 046715519081
http://kanakurakiko.com/

